

# きょういく 伊勢原

目次	
1面	特色ある教育モデル推進事業
2面	地域人材家庭教育支援事業 いじめ・不登校防止への取組
3面	平成26年度の新規事業等 小中学校の校舎等を改修
4面	トピックニュース 教育委員会の主な行事予定

発行:伊勢原市教育委員会 編集:教育総務課 TEL0463-94-4711 〒259-1188 伊勢原市田中348番地

★伊勢原市教育委員会では、教育委員会の取組を多くの皆さんに知っていただくため、情報紙「きょういく 伊勢原」を発行しています。

現在、伊勢原市教育委員会では、2つのモデル事業を進めています。1つは国の制度を活用して、これからのグローバル化時代に対応した人材を育成するための、英語教育の充実を柱とした取組（特色ある教育モデル推進事業）、そして、もう1つは、国の委託事業で、学校だけでは解決できない子育てやそれを取り巻く様々な家庭の問題を、地域の人材を活用して支援していこうとする取組（地域人材家庭教育支援事業）です。これらの事業は伊勢原市教育振興基本計画に基づき実施するものですが、学校教育と社会教育のそれぞれの分野で、全国に先駆けた取組となっています。

## ◆◆地域に根ざしたグローバル人材を育成します◆◆

～特色ある教育モデル推進事業～

### ●グローバル化へ対応するために

現在、伊勢原市では、『地域に根ざしたグローバル人材の育成』をねらいとした研究事業を進めています。これは、国の教育改革の1つである文部科学省の「※グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」に先駆けた取組で、グローバル化時代に対応できるコミュニケーション能力を育むため、初歩的な英語力を養う環境づくりとともに、伝統文化を重んじた教育活動を行うことで、自分たちの郷土のすばらしさを知り、他の地域や海外に向けて情報発信できる人材を育てていこうとする、伊勢原市独自の研究事業です。



この事業の実施にあたり、大山小学校では国の制度を活用して、全国一律の基準とは異なる授業カリキュラムが組めるようになりました。同校をモデル校としたのは、地域の特色を活かしやすい規模であること、豊かな自然や伝統文化に恵まれていること、また、英語教育の実績があることが主な理由です。

今後は伊勢原らしい特色ある教育を行うために、「英語教育の充実」「ふるさとの自然体験・伝統文化の学習」「ICT機器の利活用」の3つを取組の柱として、事業を進めていきます。

### ●教育内容(3つの柱)

◎英語教育の充実 ～学習指導要領等によらない教育課程を編成～

- ・1年生から外国語活動を設定し、発達の段階に応じた授業を行います。
- ・5、6年生に、教科「英語科」を導入します。(中学校で学習する内容を一部前倒し)

◎ふるさとの自然体験・伝統文化の学習 ～大山(伊勢原)を知る～

地域の特色を活かしながら、全教科で横断的な学習を展開します。

◎ICT機器の利活用

調べ学習、まとめ、報告(発表)等の多くの学習場面で、ICT(タブレット端末などの情報通信技術)機器を有効に活用します。



【参考】※ グローバル化に対応した英語教育改革実施計画

平成32年度に次期学習指導要領が全面実施となり、現行では5年生からの「外国語活動」が3年生から、5年生からは、中学校での学習内容が一部前倒しとなる「教科」としての「英語教育」が開始されます。併せて、伝統文化を重視した教育活動など、日本人としてのアイデンティティ(主体性)に関する教育の充実が図られます。

[担当:指導室]

## ◆◆子どもや家庭が抱える課題を地域で支援します◆◆

～地域人材家庭教育支援事業～

### ●文部科学省モデル事業として

核家族化や近隣関係の希薄化、家庭の経済格差などにより、子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変わり、本来家庭で行うべき家庭教育や子育てが、大変難しい時代となっています。

こうしたことから、文部科学省では、地域で子どもや家庭を支援していく仕組みをつくるため、家庭支援に意欲的な県や市町村に、全国に先駆けたモデルとなる仕組みづくりを委託しています。現在、全国で19の自治体がこの委託事業に取り組んでおり、伊勢原市も昨年度から取り組んでいます。



<家庭支援チームの会議の様子>

### ●本市の取組内容

この委託事業では、伊勢原小学校・中沢中学校の通学区域の子ども(未就学児を含む)や保護者を対象として、次の事業を展開しています。

#### 【専門家や地域の人材を活用した家庭支援】

専門家や地域の人材等をメンバーとする地域家庭支援チームで、問題を抱える子どもの保護者や家庭環境等にアプローチし、福祉の視点を取り入れた家庭支援を行い、子どもの問題解決につなげます。

※「地域家庭支援チーム」のメンバー  
福祉の専門家であるソーシャルワーカー、元警察官、元教職員、地域の民生委員児童委員、教育委員会職員 など



#### 【子育て支援講座の開催と支援の担い手の養成】

子育てに不安や課題を抱える保護者に、子育て支援講座を開催したり、地域での仲間づくりや相談の機会を提供します。また、それらを担う地域の人材を養成していきます。

- 子育て支援講座の開催  
大人と子どもの信頼関係を築き、子どもの問題行動を予防する専門プログラム(CSP:コモンセンス・ベレンディング・トレーニング)講座の開催
- 地域の子育てサークルとの交流や仲間づくりの場の提供
- 支援の担い手の養成・活用  
CSPトレーナーの養成、CSPトレーナーによる公民館等での講座の企画・運営 など

[担当:社会教育課]

## いじめ・不登校防止への取組

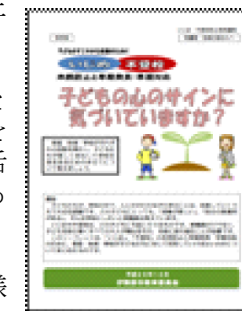


いじめは、子どもたちの健全な成長や発達に大きな影響を及ぼす重大な問題です。また、不登校も子どもが抱える大きな問題であり、早急な対策が求められています。教育委員会では、この問題の解決に向けて、学校・保護者・地域等と連携しながら、様々な取組を行っています。

### ◆◆本市の取組◆◆

市内の小中学校では、いじめ防止に向けた基本方針を策定しています。また、いじめや不登校防止のために、教職員や保護者等に日頃から必要とされる取組を書いたリーフレットを作成し、教職員の研修や会議等で活用したり、保護者や地域に配布する等の啓発活動を行っています。

これからも、子どもたちが楽しく安心して学校生活が送れるよう、様々な取組の強化を図っていきます。



【参考】いじめ防止対策推進法

昨年9月に、いじめの定義や防止のための基本理念、教育委員会や学校の責務等を明確にして、いじめ防止対策を徹底していこうとする「いじめ防止対策推進法」が施行されました。

この法律では、学校等にいじめ防止の基本方針の策定を義務付けており、方針には、道徳教育の充実、心理・福祉等の専門家の確保、いじめ防止の調査研究・啓発活動の推進等を定めたり、各学校に教職員や心理福祉等の専門家等で構成する組織を置くこととなっています。また、生命、心身、財産に及ぶような重大な事態には、速やかに事実関係を明確にするための調査を行うこととしています。



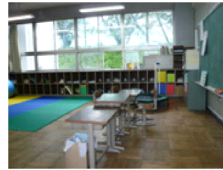
[担当:指導室・教育センター]

# 平成26年度の新規事業等

今年度から拡大する事業や、新しい取組について紹介します。

## ◆まなびの教室の増設◆

友達とのコミュニケーションがうまくいかない、特定の教科が極端に苦手など、教科学習とは別に、個別的・専門的な指導を必要とする児童のために、平成24年度から桜台小学校内に「まなびの教室」を開設していますが、保護者等からの増設を望む声を受けて、今年度から更に1か所、同校に指導場所を増設します。これからは個々の状況に応じたきめ細やかな指導を行っていきます。



[担当：教育センター]

## ◆PPS（特定規模電気事業者）の拡大◆

経費削減対策として、昨年の4月から市立小中学校等の電力供給業者をPPSに変更しています。そして一定の効果が得られたことから、今年度から対象施設を拡大し、公民館（中央、伊勢原南、高部屋）もPPSへ変更しました。市民サービスの低下にならないよう十分に配慮しながら、引き続き節電に取り組んでいきます。



[担当：教育総務課ほか]

## ◆住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」◆

「チャレンジデー」は、公益財団法人：笹川スポーツ財団主催のスポーツイベントで、住民の健康づくりやまちの活性化のきっかけづくりを目的に、毎年5月の最終水曜日に、人口規模がほぼ同じ自治体間で15分間以上の運動やスポーツを行った住民の参加率を競い合う、住民総参加型のスポーツプログラムです。これまで全国で101の自治体がラジオ体操やウォーキング、縄跳びなどで競っていますが、今年度は伊勢原市も参加することになり、長崎県大村市と5月28日（水）に対戦することとなりました。競技種目等が決まりましたら市の広報等でお知らせしますので、皆さまの積極的な参加をお待ちしています。



<長崎県>



伊勢原市はイメージキャラクター「クルリン」

[担当：スポーツ課]

# 小中学校の校舎等を改修

## ◆小中学校施設の改修工事を実施

昨年度に引続き、今年度も国の経済対策に伴う補助金を活用して、学校施設の改修工事を行います。工事は、夏休みを予定しています。



### 【平成26年度に実施する改修工事】

- 高部屋小学校1期校舎及び2期校舎北棟改修工事
- 成瀬小学校1期校舎及び2期校舎改修工事
- 成瀬中学校1期校舎及び2期校舎改修工事

<工事内容>屋根防水、外壁塗装、床改修など  
※校舎により、工事内容は異なります。

〔参考〕平成25年度に実施した改修工事

- 比々多小学校1・2期校舎改修工事  
<工事内容> 屋根防水、外壁塗装、床の改修など
- 大田小学校1期校舎改修工事  
<工事内容> 屋根防水、外壁塗装、床の改修、可動式黒板の導入など
- 緑台小学校校舎改修工事  
<工事内容> 屋根防水、外壁塗装、床の改修、可動式黒板の導入など
- 竹園小学校東校舎トイレ改修工事  
<工事内容> 東校舎トイレ全面リニューアル
- 小学校トイレ洋式化改修工事  
<工事内容> 市内8小学校のトイレの洋式化（桜台小学校及び石田小学校を除く）



※この改修工事により、市内小学校トイレの半分以上（女子トイレ52.4%、男子トイレ59.6%）が、洋式トイレになりました。

[担当：教育総務課]



# トピックニュース



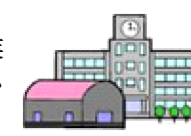
## ■幼稚園と保育園の窓口を一本化

平成25年4月から、幼稚園と保育園に関する窓口が一本化され、これまで学校教育課で行っていた私立幼稚園に関する業務が、子ども部子育て支援課へ移りました。これは、平成27年4月から全国的にスタートする「子ども子育て新制度」の導入に向けての準備で、質の高い幼児教育や保育、地域ニーズに応じた多様な子育て支援、また待機児童解消への取組を推進していこうとするものです。これからも、市民の皆さまのご意見・ご要望等を踏まえながら、より良い子育て支援事業を進めていきます。



## ■伊勢原市まちづくり市民ファンド

伊勢原市では、特定の事業の実施に必要な資金の一部を、市民や企業、団体の皆さんに寄附をとおして応援していただく「伊勢原市まちづくり市民ファンド（まちづくり応援寄附金）」を、昨年の10月に創設しました。寄附金を活用する事業のうち、教育の充実に係る事業では、小中学校校舎等の維持管理や備品整備等の義務教育に関する事業、演劇・音楽鑑賞等の文化・芸術に関する事業、文化財等の保存・活用に関する事業があります。詳しくは、市のホームページをご覧ください。



## ■ビームライフル射撃体験教室

昨年10月に県立伊勢原射撃場でビームライフル射撃教室を行いました。当日は県のライフル協会や伊勢原高校ライフル射撃同好会の協力のもと、42組、112人の親子が参加しました。教室後のアンケートでは、「楽しかった」「また参加したい」との声が多く寄せられ、今後は体験教室だけでなく、大会等の開催も検討していきます。



※県立伊勢原射撃場は、2015年開催の「わかやま国体」クレー射撃の競技会場となります。

[担当：スポーツ課]

## ■宝城坊本堂解体修理事工

平成22年度から始まった宝城坊本堂の保存修理事業は、24年度までに解体工事を完了し、25年度は古い部材を再利用するための補修作業を行いました。そして、いよいよ今春から組立工事が始まります。



完成は平成28年秋の予定です。 [担当：文化財課]

## ■公共施設の相互利用協定

平塚市、秦野市、大磯町、二宮町中井町、伊勢原市の3市3町は、昨年9月に協定を結び、それぞれのスポーツ施設や美術館等の公共施設を今年4月から、お互いに同じ条件で利用できるようになりました。利用条件等は施設によって異なりますので、各施設へお問い合わせください。



[担当：スポーツ課]



## 平成26年度(H26.4.1~H27.3.31) 伊勢原市教育委員会の主な行事予定



4月~5月	・2014 子ども読書フェスタ (図書館)	11月	・文化財保護強調週間事業 (日向・宝城坊ほか)
5月	・子ども科学館フェスティバル (子ども科学館)	12月	・第44回市民走れ走れ大会 (総合運動公園)
6月	・2014 チャレンジデー (伊勢原市内)	1月	・第32回伊勢原駅伝競走大会 (総合運動公園スタート)
7月~8月	・第19回いせはら市展 (中央公民館)	2月	・百人一首かるた大会 (図書館)
	・夏休み 学校プール開放 (全小学校)		・公民館まつり (全公民館)
	・図書館の怪談 (図書館)	3月	・第26回市民音楽会 (市民文化会館)
9月	・平成26年度 教育講演会 (市民文化会館)		・教育委員会表彰、スポーツ表彰 (市役所)
	・伊勢原市自由研究展示会 (子ども科学館)		・第30回大山登山マラソン大会 (伊勢原駅前スタート)
9月~10月	・ロボットコンテスト (子ども科学館)		・第30回伊勢原美術協会展 (中央公民館)
10月~11月	・地区・学区住民体育祭 (各小中学校)		
	・市民のための図書館教養講座 (図書館)		
	・第50回伊勢原市民文化祭 (市民文化会館ほか)		

## 問い合わせ

〔電話〕 市役所代表：0463-94-4711 各担当の内線は以下のとおり  
■教育総務課 5110 ■学校教育課 5120 ■指導室 5130 ■文化財課 5210 ■社会教育課 93-7500(直通)  
■教育センター 95-2211(直通) ■スポーツ課 5350 ■図書館 92-3500(直通) ■子ども科学館 92-3600(直通)  
〔E-mail〕 k-soumu@isehara-city.jp